

サポート君



support you, support me

ささえて、ささえられて

社協

かかみがはら

No.140

2010年4月15日号

ひかる才能



豊かな個性

『アクア・トトぎふ』（各務原養護学校を今春卒業された水野靖弘さんの作品）

や

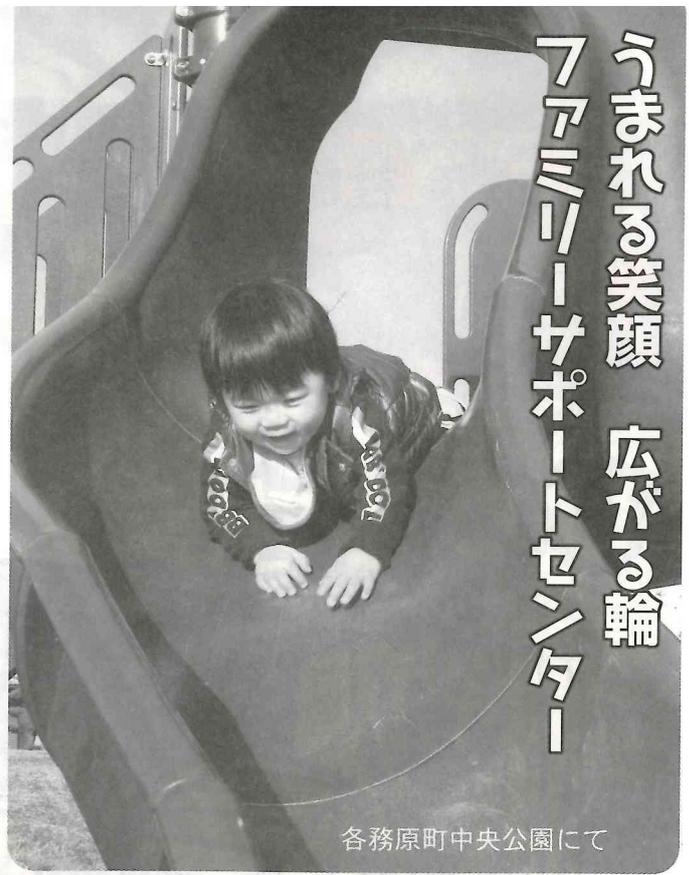


この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原養護学校 作業学習印刷コースでの授業風景

ホームページ <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>

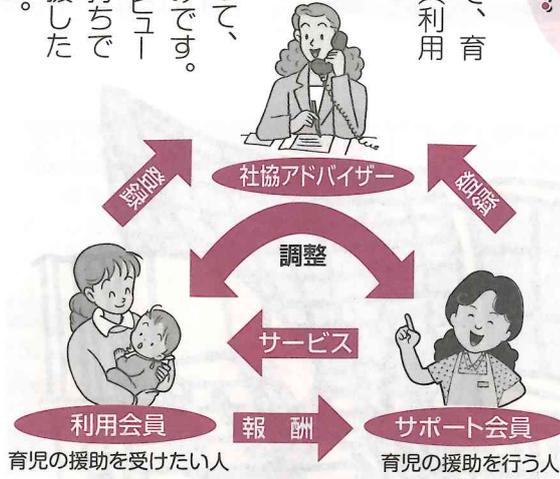
うまれる笑顔 広がる輪 ファミリーサポートセンター



各務原町中央公園にて

ファミリーサポート センターって何？

市内在住または在勤で、育児の援助を受けたい方（利用会員）と、育児のお手伝いを行いたい方（サポート会員）とを、各務原市社会福祉協議会のアドバイザーが調整して、子育てを応援する仕組みです。今回二組の方にインタビューをしました。どんな気持ちでサポートを受けたり支援したりしているのでしょうか。



利用会員

石川直樹さん 由美子さん 賢一良くん 優大くん

Q1. サポートセンターを知ったのは？

— 長男と子ども館に遊びに行った時に知り、その場ですぐに申し込みました。

Q2. 利用したきっかけは？

— 当時、年長だった長男の音楽教室に、次男を連れて行くことが難しくなってきたので利用しました。

Q3. 利用してみての感想は？

— 初めて利用したときは、泣きはしないか、どんな方が預かってくださるのか心配がありました。でもそんな心配は無用でした。毎回「預かるのが楽しみ」と言ってくださり嬉しうです。「行ってくるね。」と言つと「行くところじゃー。」と子どもが手を振ってくれるほど、サポートさんが大好きです。

Q4. 利用して何か生活に変化は？

— 主に長男の行事の時に利用させてもらっています。授業参観の時など、長男の姿をしっかりと見てやれるようになりました。

《同世代のお母さん方にひとこと》

— 知らない方に子どもを預けることは、確かに不安があると思います。それでもサポート会員さんは子ども好きで優しい方ばかりだと思います。安心して預けてみてはいかがでしょうか。

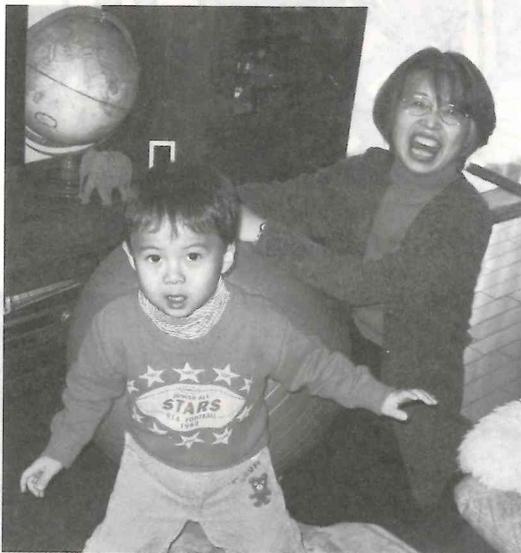
私は「まあ、いっか」「大丈夫、大丈夫…」の二つの言葉が好きです。完璧を求めるとイライラしちゃいます。楽しく子育てしましょう。

《サポート会員さんにひとこと》

— 毎回私たちを優しく迎え入れてくださり、ありがとうございます。

サポート会員 近藤町子さん

子どもさんの時間は楽しく、あっとい間に過ぎてしまいます。サポートは逆にエネルギーをもらえ、良い事づくしです。子育ては余裕がないとできませんよね。いつでもサポートを利用してください。



楽しくサポートしています

利用会員

川口廣二さん 容子さん 優真くん

Q1. サポートセンターを知ったのは？

— 母子手帳をもらいに行った時にチラシをいただき知りま
した。

Q2. 利用したきっかけは？

— まだ小さいので、集団のなかで預けるのは不安もあり、
個人でみていただけるので利用しました。

Q3. 利用してみての感想は？

— 本当に助かっています。一対一で向き合っていただけ、
かわいがってもらえ、ありがたく思っています。サポート
会員さんは、優しい方ばかりで迎えに行ったときも、
その日のよつすを詳しく教えてくださり、子どもの様子
が分かってうれしいです。



「安心してお願いできます」と川口さん

《同世代のお母さん方にひとこと》

— とても安心な事業だと思えます。子どもが小さくて集団の場所に預けることが不安な方は
利用されると安心だと思えます。

《サポート会員さんにひとこと》

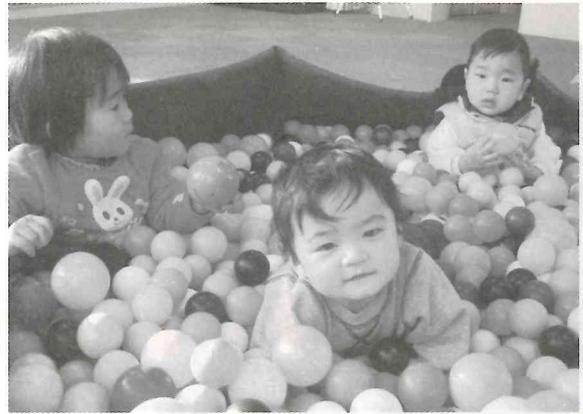
— いつもありがとうございます。安心して預けることができ本当に助かっています。これか
らもよろしくお願いします。

サポート会員 黒田千賀子さん

何より子どもが好
きなのはじめま
した。子どもの顔
を見てみると、こ
ちらも元気がもら
えます。依頼があ
ると嬉しいです。



いつもはお寝んねの優真くん。
今日は黒田さんに抱かれています



あさひ子ども館にて

サポート会員・
利用会員募集中

ファミリーサポートセンター

(各務原市社会福祉協議会)

TEL 058-383-7610

利用会員

・ 小学校3年生までのお子
さんをお持ちの方

サポート会員

・ 育児経験があり、熱意のあ
る方

サポート内容

- ・ 託児（学校の放課後や、疾
病や就労、冠婚葬祭や学校
行事の際など）
- ・ 軽度な病気の子どもの世話
- ・ 妊産婦や乳幼児の世話

利用料金

活動日	時間帯	料金（一人あたり）
平日	8:00～17:00	700円/時間
	上記以外	800円/時間
土・日 祝日	8:00～17:00	900円/時間
	上記以外	1,000円/時間

※2人目からは、上記金額の半額

ほんわかあったか交流会

3月12日にファミリーサポ
ートセンターの利用会員とサポ
ート会員との交流会が行われ
ました。ふだんは1対1のつ
ながりですが、今回は125名を
超す方が集まり、一緒にホッ
トケーキランチを楽しみまし
た。思い思いに生クリームや
チョコでデコレーションをし
たり、ミッキーマウスの形に
焼いたり子ども達からは多
くの笑顔がこぼれていました。

この機会に利用会員さんが、
サポート会員になつてくださ
り方も大勢ありました。困
った時はお互いさま。みなさん
も利用会員・サポート会員に
登録してみませんか。



今にもほっぺが落ちこぼそう

手話

宮崎県 東丸 円香

私は手話が大好きだ
だって手話は手のまほう
自分が伝えたいこと
自分に伝えてほしいこと
自分で伝えると
なんだか

心があたたかくなるんだ
まるで手から
まほうの言葉が
出てくるように

みんなの心が
あたたかくなる
みんなも手話を

つかってみようよ
心があたたまる
手話を

この詩は二月に行われた
第十四回NHKハート展
で出会った詩です。今回
は、東丸さんが詩の中で
「手のまほう」となぞら
えた『手話』にかかわる
お仕事の紹介です。



河合由美さん

手話通訳者(岐阜県の通訳者資格)

プロフィール
1960年生れ。
ご主人と長男・長女の4人家族。
楽しみは、映画鑑賞とドライブ、
おいしいものを食べること。
心がけていることは『プラス思考』
口ぐせ『ダイエット中』

ふくしのお仕事



手話との出会い

手話を学ぼうとしたのは、
息子の耳が「聴こえない。」
と知ったことがきっかけです。
子どものためにというよりも、
子どもが大きくなって友達と
手話でしゃべっているのを私
がわからないのが嫌だと思っ
て勉強しました。平成五年、
社会福祉協議会の手話講座が
手話との出会いでした。しか
し当時の学校では、『口語教
育』(手話を使わず唇の動き
を読んで話を理解するもの)
が中心でしたので、子どもと

家で手話を使って会話をする
ことはあまりありませんで
した。今はもちろん手話で会話
もしますが、子どもはいちい
ち面倒くさいと思うのか、早
く伝えたいとき以外はほとん
ど口話です。

心を伝える言語

手話は向き合ってしゃべる
コミュニケーションなので本
当にいいものだと思います。
それは上手く手話ができなく
ても、伝えたいという心が強
ければ、通じ合える『手話』
ならではの素晴らしさです。
また、聴こえない方は、とて
も素直な気持ちをもった方が



『耳の日フェスティバル』
(2月21日)での市長挨拶を通訳

多く、たくさん見習うところ
があります。難しさや大変さ
も時には感じますが、手話を
通じてコミュニケーションを
とれることに楽しさを感じて
います。



表情も手話の一部です

現在は月に4、5件ほど、
学校の授業参観や結婚式、福
祉懇談会などで通訳の活動を
行っているという河合さん。
話をうかがって一番印象に
残ったのは『手話には上手い
下手は関係ないんですね。
伝えたいという気持ちが大事
なんです。』と言われた言
葉でした。手話を通じて「ミ
ニケーションを図ることは、
心を向き合わせることなんだ
と感じました。

(聞き手・文責/土屋直樹)

手話奉仕員 養成講座

河合さんも仲間と楽しくご
飯やお茶をしながらサークル
活動を行い、手話を覚えられ
たそうです。手話に興味を持
たれた方は、難しく考えずに
手話講座に参加してみませ
んか。

◎日程

【入門編：初めての方】
全18回

・8月12日～12月16日までの
毎週木曜日

(9月23日を除く)

・午後1時～3時

【基礎編：入門編の修了者】
全23回

・7月9日～12月17日までの
毎週金曜日

(8月13日を除く)

・午後7時～9時

◎会場：総合福祉会館 集会室

◎講師：市聴覚障がい者協会

◎協力：手話サークル

「はにわ会」

◎定員：各40名

◎受講料：入門編 1,200円

基礎編 1,470円

◎申込み：総務課

TEL 058-383-7610

要約筆記奉仕員 養成講座

聞こえに障がいがある方(中途失聴者)に、講演や研修会の場でOHPに内容を書き写して伝えるものが「要約筆記」です。複数の方に伝える場合はOHPに映し出し、個人の場合は紙に筆記する形で行います。

講演会や研修会、また病院や公的機関での手続きの際などに、こういった要約筆記活動をしていたり、方を養成する講座を開催します。受講してみませんか？
文字を書くことが好きな方、楽しく学びませんか。

◎日程

【基礎編：初めての方】

全11回

・7月3日～10月16日までの
毎週土曜日

(7月17日、8月14日、9月11日、10月9日を除く)

【応用編：基礎編の修了者】
全7回

・10月30日～12月18日までの
毎週土曜日

(11月20日を除く)

◎時間：午後1時15分～4時15分

◎会場：総合福祉会館研修室

◎講師：要約筆記サークル
「かがみの会」他

◎定員：15名

◎受講料：1,050円

◎申込み：総務課

TEL 058-383-7610



『耳の日フェスティバル』(2月21日)にて

ボランティアグループ紹介

69

思い出の歌

私達「思い出の歌」サークルは、各務原市「生涯学習講座」の集いを経て、音楽を愛し、歌う事の大好きなメンバーの自主参加を基に構成され、現在男女併せ



て70数名の混声合唱コーラスサークルとなりました。卓越した指導者の豊かな人間性に心酔し、”明るく”、”楽しく”、”自由に”をモットーに、日本の心に残る名曲や、四季を彩る抒情歌、そして各国の民謡歌集等ジャンルにこだわらず伸び伸びと楽しんでいきます。主な活動として、毎年「あすかホール」で開催される”クラブ・サークル発表会”や、”街角コンサート”にも積極的に参加させて戴いております。「各務原憲章」に、「教養を高め、文化の香り高い街をつくります」と示されているように、私達自身がコーラスを楽しむと同時に、発表会を通じて練習の成果を確認し合い、それぞれ交流を深め、教養を高める喜びを共有出来る。まさにコーラスは友和であり、活力の源です。これからも各自の持つ異なった色の音感を調和しながら一曲、一歌を大切に、素晴らしい点描画を完成させていきたいと思えます。



福祉推進校だより

各務原市社会福祉協議会では、市内の全小中学校（8中学校・17小学校）を『福祉推進校』に指定しています。

これは子ども達にボランティア活動や社会福祉への理解と関心を深めてもらうことを目的として、活動費の助成や授業への協力を行っています。各学校で様々な取り組みがされていますが、その活動の一部を紹介します。（クラスなどは平成21年度の表記です）

蘇原第一小学校

5年生175名が、車いすを利用してひとり暮らしをしている羽田さんからお話を聞きました。部屋の中と外出時では違う車いすを使い分けているお話や、街中ではこんな声を掛けてもらうと嬉しいです。といった具体的なわかりやすいお話でした。子どもたちもたくさん質問をして一生懸命に聞いていました。学習の後に学んだことと感想を書いて羽田さんに贈りました。ここではその一部を抜粋して紹介します。

5年2組 河合進二

僕は羽田さんのお話を聞いて、車いすを使っている人には、家の中のヘルパーさんと外出する時のヘルパーさんがいることがわかりました。それと棒のような不思議な形の道具を使っていることがわかりました。それに電動車いすには転ばないようにするための小さいタイヤと、ひとつの箱で十数キロも走れる箱（バッテリー電池）がついていて、車いすの重さが90キロもあることがわかりました。

5年2組 二瓶なつほ

苦労していることでは、横断歩道の段差や坂道などが危ないことがわかりました。また、車いすには電動のものがあ



初めて知ったことがたくさん

あって、それがその人に合った形をしていることなどを初めて知って、びっくりしました。

5年2組 間宮佑樹

羽田さんの話で分かったことが二つありました。

一つ目は車いすで、前と後ろに転倒しないように小さい車輪がついていることを初めて知りました。

二つ目は道具です。高い場所にあるものを引っかける棒で取ることで、床にあるものをマジックハンドのような道具で取ることがわかりました。

5年2組 櫻井裕介

ぼくは車いすの方を見たこととはありますが、どうやって接しているかわかりませんでした。羽田さんのお話を聞いて接し方がわかりました。車いすの方を見かけたら「こんにちはは。」などのあいさつや「手伝いましょうか。」などの声をかければいいことがわかりました。これからは、車いすの方を見かけたらあいさつなどの声をかけていきたいです。また困っていたら手伝いたいです。

緑陽中学校

『まわりの人とより良く生きていくこと』をテーマに1年生123人が福祉体験学習をしました。実際に車いすやガイドヘルプサービスをつかってみる方からお話を聞き、その後アイマスク体験や車いすの体験等を行いました。

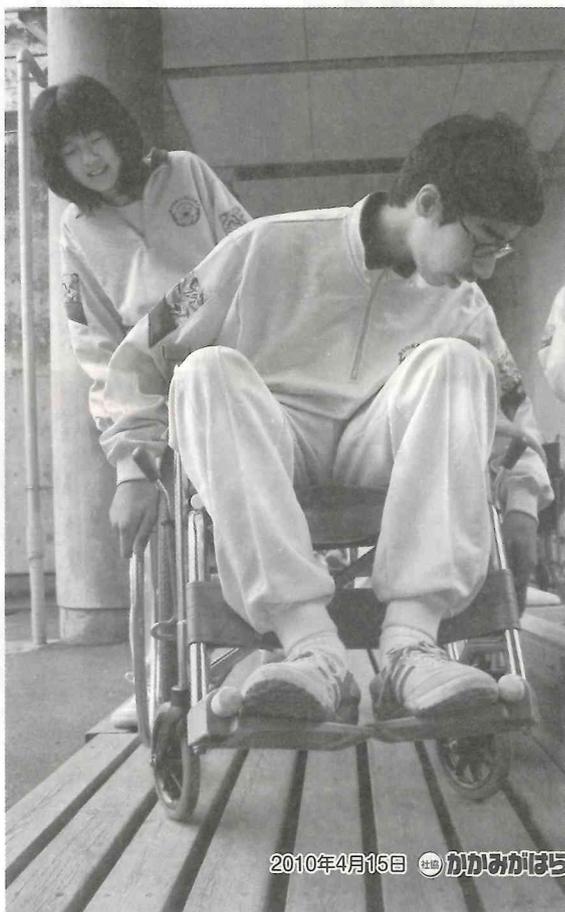


ガイドの声をたよりに

視覚に障がいのある日比野さんからは、盲学校に通ったお話や目が悪いといつても見えにくさは様々であること、白い杖に添えた指先から伝わる感触でどんな物が目の前にあるのかをつかんでいることなどお聞きしました。

生徒からは「小さな段差でも車いすが動かなくなってしまう変だった。」「アイマスクをしている時に、急にさわられるとびっくりした」などの感想がきかれました。

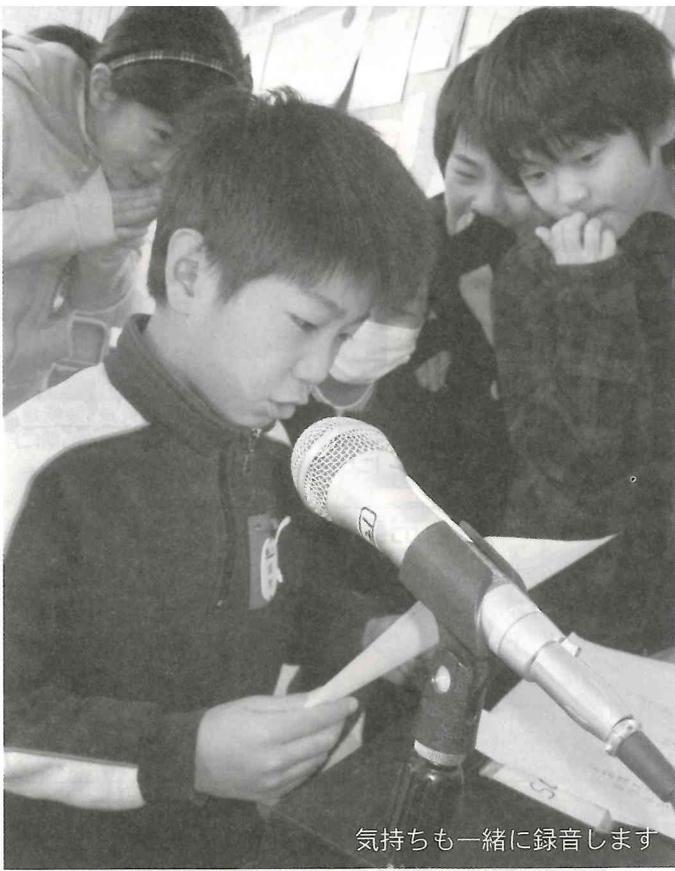
前輪が落ちないか不安そう。ハンドルを握る手に力が入ります



鵜沼第二小学校

4年生122名が総合学習の時間に福祉体験をしました。耳の不自由な方とのコミュニケーション手段である「手話」で、目の不自由な方が使う「点字」、耳で聞く「音訳」の体験です。手話サークル『はにわ会』と各務原市聴覚障害者協会の方、また点字サークル『あけぼの会』と音訳サークル『かかみがはらテープマガジンあじさいの会』のみなさんをゲスト講師に迎え学習しました。事前に自分の体験し

たいクラスの希望をとり下調べをしてからのぞきました。写真は文章をテープやCDに吹き込んで「声の広報」や「耳で聞く本」を作成する音訳を体験しているようすです。マイクを前にして少し緊張がみ。まわりの友達も上手くいくようにと応援していますね。吹き込んだ後に聞きなすと、自分の声でないような不思議な気持ちに。国語の教科書を読む以上にたいへんな活動だと感じたようでした。



気持ちも一緒に録音します

那加三小学校

集会委員会によるつどいが3月12日に行われ、アルミ缶回収で購入した車いすの贈呈式が行われました。これはボ



3年生と5年生が特にがんばりました



キューのサインで読み始めます

声でつながる (実践編) 音訳ボランティア養成講座

広報紙などを音訳し、視覚障がいのある方に情報をお届けするボランティア養成講座です。今回は基礎編を修了した方を対象に開講します。

日程 ■ 5月11日～8月17日
までの毎週火曜日
(全15回)

時間 ■ 午前9時30分
～11時30分

会場 ■ 総合福祉会館
講師 ■ かかみがはらテープ
マガジンあじさいの会

定員 ■ 20名

受講料 ■ 2,000円 (テキスト代含む)

申込み ■ 社会福祉協議会 総務課
電話 058(383)7610

各務原西高等学校

高校は福祉推進校の指定はありませんが、自主的な活動をされています。各務原西高等学校生徒会から歳末助け合い募金をいただきました。生徒会を代表して、会長の恩田恭平さん(写真中)と、副会長

ランティア委員会の呼びかけでアルミ缶を集めたものです。活動のなかで「カンカンキャンペーン」と題し集中して集めた結果、5年生と3年生のがんばりもあり、なんと6725個ものアルミ缶が集まりました。車いすは各務原市社会福祉協議会に寄付されました。贈呈を受けた職員は「小さなコツコツとした活動でも、みんなの力を合わせると大きな力になる事を感じました。みなさんの温かい心を大事にして、大切に使用させていただきます」と感謝のお礼をのべました。

の伊與田里奈さん(同右)が来てくださいます。この募金活動は毎年行われています。



地域福祉活動計画 『いきいきプランかかみがはら』 (第2期)を策定!



3月5日 飯尾良英策定委員長、柴崎建・
瀬藤道彦両副委員長(左2人目から順に)
により、森会長に答申が行われました。

この計画は、社協が地域福祉を推進する団体として、平成22年度からの5年間の活動をどのように展開していくのかを明らかにしたものです。策定の過程には民生委員や住民の代表者、ボランティア団体など様々な方から意見をいただきました。左記の基本構想・基本方針に基づき、具体的な数値目標を盛り込んだ実施計画となっております。ウェブサイトに掲載いたしますのでご覧ください。

基本構想

ささえてささえられて
みんなが主役のまちづくり

基本方針

- 1 小地域活動の推進
- 2 ボランティア・市民活動の推進
- 3 福祉サービスの充実と活用
- 4 地域福祉活動基盤整備

福祉有償運送サービス 運転ボランティア募集

社協では、身体障がい(児)者、要介護認定者など常時車いすを使用している方で、一般の公共交通機関(バスやタクシーなど)を利用することが困難な方の外出支援を目的とした運転ボランティアを募集しています。



申込条件 ■普通自動車運転免許を有する65歳までの方。運転免許一種の方は「福祉有償運送講習会」を受講していただきます。

※費用は本会で負担します。

申込み先 ■各務原市社会福祉協議会

総務課 TEL058-383-7610

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

平成21年度共同募金 総額 21,352,052円

赤い羽根募金(21,088,819円) 歳末たすけあい募金(263,233円)

昨年10月から12月にかけて実施した共同募金運動に、市民の皆様をはじめ多くの企業等の皆様からご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

赤い羽根募金は、県内の民間社会福祉施設や団体・社会福祉協議会に配分され、地域福祉事業に活用されます。また、歳末たすけあい募金は、障がい者通所施設等や支部社協の歳末福祉座談会などに活用させていただきました。

- ・ジャスコ各務原店(募金箱) 3,323円
- ・各務原西高等学校生徒会 56,011円
- ・マックスバリュ各務原店(募金箱) 366円
- ・ボーイスカウト各務原 第1団カブ隊 24,973円
- ・那加中ふれコミ隊 27,433円
- ・浅野文化学園 那加幼稚園 40,515円
- ・各務原市明るい社会づくり運動協議会 178,422円
- ・堀江積子 3,239円
- ・各務原市職員互助会 137,019円
- ・匿名、募金箱等 18,963円

(順不同・敬称略)

お詫びと訂正

前月号の中で、平成21年度賛助会費協力法人・事業所名に誤りがありました。お詫びをするとともに下記のとおり訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

(誤) (有) 本家豆大福達磨堂 (正) (有) 本家豆大福達摩堂

(誤) 苅谷燃糸(有) (正) 苅利燃糸(有)

善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました。

(敬称略・順不同 平成21年11月17日~平成22年3月8日)

金	金額
・竹山 清次	18,250円
・社団法人岐阜南法人会	94,000円
・各務原市家庭婦人バレーボール連盟	74,000円
・宇野 巳代治	5,060円
・浅野 たね	100,000円
・ホットガールズ	31,278円
・ぎふ農業協同組合	70,000円
・株式会社 ロマンティア	128,967円
・K Y B労働組合	30,000円
・那加第三女声コーラス	8,125円
・ひばり体操クラブ	21,027円
・と〜くん	5,000円
・長良川岳精会	4,671円
・めんばあず ジュン	15,600円
・岐阜県中古自動車販売商工組合 中濃支部各務原ブロック	74,122円
・各務原商工会議所女性会	20,000円
・NPO法人 だいじょうぶ	5,000円
・安田 清子	9,521円
・波多野 耕三	9,000円
・東濃信用金庫 鷺沼支店 お客様	424円
・樹げんそう チャリティカラオケ大会参加者	15,000円
・匿名5件	計112,294円

- ・小林啓子(食品)
- ・東濃信用金庫 那加支店(使用済みクオカード)
- ・那加第三小学校児童会(アルミ製車いす1台)



先日、アリドオシ(蟻通)という別名「一両」ともいわれるアカネ科の植物に出会いました。

アリドオシは「葉の付け根から鋭いトゲがあることから蟻をも刺し通す」という意味から命名されたと言われています。一両と聞けば、千両や万両、百両(カラタチバナ・唐橘)、十両(ヤブコウジ・唐柑子)といった私たちにも身近な植物が連想されます。

このうち、一両(アリドオシ)、千両、万両の3種類は、昔からお正月の縁起物として、生け花や寄せ植えなどによく使われてきました。

これは、「説によると」千両、万両、アリドオシ」といって「お金(千両、万両)がいつもあり通し」という願いが込められているとのこと。できれば、あやかりたいものですね。

このように昔から人々は言葉としての「ごろあわせ」を楽しみ、そして言葉の文化をつくりあげてきました。

地域のつながりや家族間のつながりが薄れてきている中、よき伝統や言い伝えなど、これからも大切にしていきたいものですね。(浅野茂之)